きれいな諏訪湖へ　ヒシ刈り作業

諏訪湖のヒシを取り除く刈り取り船＝午前７時39分

下諏訪町の諏訪湖に広がるヒシ＝15日午後1時30分（河川管理者らの承諾を得て小型無人機で撮影）

ヒシが広がる湖面へ降りる水鳥＝午前6時51分

専用船出動　9月まで510㌧計画

県諏訪建設事務所は15日、諏訪湖に繁殖する浮葉植物ヒシを専用の刈り取り船で取り除く作業を、下諏訪町の高木運動公園沖で始めた。9月下旬まで岡谷市と諏訪市の沖でも作業し、計約510㌧を除去する予定だ。

◆　◆

ヒシが大量に繁茂すると、湖水の対流を妨げて水が貧酸素状態になるという。貧酸素は、2016年夏にワカサギなどが大量死した一因ともされている。ヒシの茎は湖底から湖面へ伸びるため、船のスクリューに絡み付いて運航を邪魔することも。人間にとって「厄介者」にも思われるヒシだが、自然界では魚類や水生昆虫の産卵場所として、また野鳥の餌場としての役割も果たす。

15日は、カルガモやカワウが見られる中、専用船が勢いよくヒシを刈り取っていた。連日の雨の影響か、ペットボトルなどのゴミがヒシに多く絡んでいる場所もあった。

ヒシは湖の窒素やリンを吸収するため、除去すると水質浄化につながるとされる。同事務所はこの日、約8㌧を刈り取り、岡谷市の湖岸へと運んでいった。2日ほど天日干しして、堆肥にする。

例年は大勢の人が参加して手作業の刈り取りも行っているが、今年は新型コロナウイルスの影響で難しそう。同事務所整備課の河原輝久課長は「船でしっかり刈り取って、景観改善や水質浄化につなげていきたい」と話した。

（文・河井政人、写真・米川貴啓）

ヒシは刈り取って陸揚げした後、天日干しにして堆肥にする＝午前10時47分

諏訪

諏訪支社
〒392−8520　諏訪市小和田南13−6
☎0266−52−0021
fax.　58−8101

岡谷支局
〒394−0002　岡谷市赤羽2−2−13
☎0266−22−2443
fax.　22−2474

茅野支局
〒391−0005　茅野市仲町17−14
☎0266−73−4850
fax.　73−4255

包装資材・ポリエチレン加工
長野包装㈱
長野市大字穂保（北部工業団地）　☎026−295−0080代　FAX026−295−0082

ケーブルテレビ・コミュニティーFM　これがおすすめ！

朝の情報番組　モーニング７（セブン）
（ＬＣＶ１２１ｃｈ16日前７・00）
ＬＣＶ−ＴＶとＬＣＶ−ＦＭがコラボしてお送りする朝の情報番組です。ＬＣＶパーソナリティーがニュース、お天気情報など通勤通学のお役立ち情報を、諏訪地域の道路情報カメラの映像とデータ放送画面でお伝えします。

朝の情報番組　モーニング７

プレイバック　映像でふり返る
（ＬＣＶ１２１ｃｈ16日後３・00）
「平成」をふり返る番組「プレイバック」。今回は「平成４年１月」。ＪＲ東日本が、平成５年春までの中央東線「スーパーあずさ」運行を発表するなどした